



お立ち寄りの際はご覧ください

**◎お知らせ**  
現在、公民館内ギャラリーにおいて、絵画グループ「みゆき野絵楽会」の作品展が行われています。(3月10日まで)公民館階段付近、2階廊下の一部に北信濃を描いた風景画など15点を展示しています。  
公民館内ギャラリーに作品展示を希望される方は、美術館受付までお申し出ください。  
(お問い合わせ先：飯山市美術館 ☎1501)

# 春休み体験教室 参加者募集



羊毛フェルト

総合学習センターでは、春休み体験教室を開催します。  
対象は、市内小中学校の児童生徒の皆さんです。さまざまな体験や学校、学年を超えた仲間づくりを図る絶好の機会です。くわしくは、各学校を通して配布されるチラシをご覧ください。  
申込期間：2月22日(月)～3月5日(金)

★問合せ・申込み先 総合学習センター 飯山市公民館 Tel 62-3342

教室名	日時	対象	定員	内容
自分てつくる かわり本&ノート	3月23日(火) 午前10時～12時	小学4年生以上	30名	折りたたみ絵本を作ったり、糸とじ本の作り方をマスターしよう!
さどう たいけん 茶道体験	3月23日(火) 午後2時～4時	小学1年生以上	20名	日本の伝統文化、茶道を体験しよう!お茶やお菓子のいただき方を、楽しみながら学びます
国際交流員 アレナと イースターの卵染め	3月24日(水) 午前10時～12時	小学1年生以上	20名	ゆで卵を自分の好きな色に染めて飾ったりする、楽しいアメリカの伝統行事を体験しよう
羊毛フェルトで もこもこキノコ	3月24日(水) 午前10時～12時	小学4年生以上	15名	“ふわふわもこもこ”のフェルトを使って、かわいいキノコを作ろう!
てづく 手作りのコカリナを 吹いてみよう	3月24日(水) 午後1時30分～3時30分	小学1年生以上	12名	木でつくる小さな笛・コカリナに挑戦!どんな音するかな??
たま まが玉をつくろう!	3月25日(木) 午前10時～11時30分	小学1年生以上	30名	古代のアクセサリー“まが玉”を作ってみましょう
スイーツ・デコでつくるよ! ～かわいい写真フレーム～	3月25日(木) 午後1時30分～3時	小学1年生以上	50名	クッキーやキャンディーなどかわいいスイーツの模型を写真フレームに飾るよ
さき 笹ずしをつくろう	3月26日(金) 午前9時～12時	小学1年生以上	40名	飯山の名物『笹ずし』をつくって食べよう!おいしくできるかな!?
オリジナルLEDライト	3月26日(金) 午後1時30分～3時30分	小学3年生以上	20名	カラフルに光るLED電球と、光を通す粘土を使って、自分だけのライトをつくります
いご 囲碁はおもしろい	3月29日(月) 午前9時30分～11時30分	小学1年生以上	30名	打った石を取ったり、取られたり。ルールは簡単、ゲームがおもしろいよ!
むかし 昔の遊び	3月30日(火) 午前10時～11時30分	小学1年生以上	20名	その昔、おじいさん、おばあさんも夢中になった、竹とんぼをつくって遊ぼう!
いどうぎじゅつかがくかん 移動技術科学館	3月30日(火) 午後1時30分～4時	小学3年生以上	50名	『科学のふしぎ』…いろんな工作や実験にトライしてみよう!!

(※内容等変更する場合があります)

3月28日まで開催中

## 城下町 ひな街道飯山 「ひな人形展」

「ひな人形展」も第3回となりました。今年度は、新たに「木目込人形」も展示しています。江戸時代から平成まで、いろいろな種類のひな人形を展示していますので、ぜひお出かけください。

ひな人形を通して伝統行事を体感していただければと思います。

詳しくは飯山市ふるさと館 (Tel.67-2070) まで



享保雛(約300年前・当館所蔵)

ふるさと館企画展



▷『町工場』岡田千春作(1977年)

飯山市美術館 常設展示作品から

市在住の画家・岡田千春さん(1927年)は、具象抽象を問わず様々な画風の作品を制作されています。写真は、かつて市内新町にあったスキー工場の一部を描いた作品で、新幹線駅周辺工事の様変わりをした今、当時の情景を知ることのできる一枚となりました。

新聞で認知症と長寿社会をテーマに大きく取り上げられ、長寿・高齢化社会を迎えた今日、知的機能がダメージを受けて、社会生活や家庭生活が困難になる認知症(特にアルツハイマー病)者が増え、本人はもとより介護に当たる人たちの負担が大きな社会問題となつていくとの報道がありました。

その中のアンケートによれば、介護されている人は七十代以上で九割近くを占めており、お年寄りがお年寄りを見る「老老介護」が実態としてあり、介護の長期化を背景に将来に不安があり、と答えた人は実に八割強にのぼっていました。

地域からの手助け支援を受けたことがない、が50%を超えている現状を見た時に、他人の家庭にどこまで踏み込めるのか?認知症への差別や偏見からくる社会の理解不足等の課題に対して私たちが今真剣に取り組む必要があるのではない

しょうか。高齢化が進み、介護の問題は誰にとつてもひとつではなくなつており、介護者と本人を支えるために、何が足りないのか、制度や仕組みにとどまらず、地域での学習や講習等により積極的に手を差し伸べてゆくことが求められていくと思えます。

人 箱  
学習シリーズ

「長寿社会に思うこと」  
飯山市農業委員  
飯山市男女共同参画推進委員  
今井 寛

とへと、つながってゆくのではないのでしょうか。認知症の初期症状のチェック項目には、

- 一、言つたこと、聞いたこと、約束したことなどをしばしば忘れ、何度も同じ話を話す。
- 二、置き忘れやしまい忘れが多くなる。
- 三、日時・曜日が解らなくなる。
- 四、興味・関心・気力がなくなる。
- 五、感情が不安定となる。
- 六、人の名前、物の名前が解らなくなる。
- 七、常用している薬の管理ができない。
- 八、メニューが単調になり同じ料理を出す。
- 九、同じ食材で冷蔵庫をいっぱいにする。
- 十、計算やお金の勘定がスムーズにできない。

等の症状が見られることですので、どこかおかしい、周囲がそう感じられた時は早めに受診を!この病気が早期発見・早期対応が何より大切とのこと。